

平成 27 年度 家庭の省エネ行動阻害要因等調査 結果報告書

1. 調査目的

政府は、日本の温室効果ガス削減目標「2030 年度に 2013 年度比▲26.0%」を達成するために、家庭部門におけるエネルギー起源 CO₂ 削減目標 39%を掲げている。しかし、家庭部門のエネルギー消費量の削減はなかなか進んでいないのが現状である。

また、家庭における各省エネ対策の実施率については、様々な機関により調査が行われているものの、実施していない要因についての調査はほとんど行われていない。

そこで、本調査では、行政や団体、企業などにおいて消費者に省エネを促す立場の人への参考となるよう、「省エネの取り組みを行っていない理由」に焦点を当てて省エネ行動阻害要因の分析を行い、各対策を普及させるためにどのような情報が必要かを整理した。

また上記の省エネ行動阻害要因調査と併せて、家電製品の待機時消費電力削減対策について、家庭での取り組み実態や認識を把握する調査を実施した。

2. 調査概要

(1) 実施時期

平成 27 年 12 月

(2) 実施対象

東京都内在住者 20~79 歳（学生を除く）の男女

(3) 調査方法

インターネット

(4) 回答者の属性

性別	年齢	回答数	割合 (%)
男性	20-29才	53	8.5
	30-39才	67	10.8
	40-49才	61	9.8
	50-59才	47	7.5
	60-69才	51	8.2
	70-79才	33	5.3
女性	20-29才	50	8.0
	30-39才	64	10.3
	40-49才	57	9.1
	50-59才	45	7.2
	60-69才	53	8.5
	70-79才	42	6.7
全体		623	100.0

(5) 調査項目

1. 省エネ行動阻害要因調査

主な調査項目は、平成 26 年度に東京都が実施した「家庭のエネルギー消費動向実態調査」において取り組み状況を調査した 47 の省エネ対策の中から、実施率向上の余地が大きいと思われる対策（※）を中心に、下記の 2 つの観点（ア）（イ）より選定した。

※同実態調査において、「既に取り組んでいる」の割合が概ね 60%未満で、取り組んでいない人のうち「今後取り組みたい」を選んだ人の割合が 30%以上であった対策

（ア）一度の手間で長く省エネ効果の続く対策

<選定した項目>

- ・季節に合わせて冷蔵庫の庫内の設定温度を調整している
- ・冷蔵庫の左右の側面は壁からそれぞれ 5cm 以上間隔をあけて設置している
- ・テレビ画面の明るさを抑えたり、省エネモードに設定したりしている
- ・温水洗浄便座の温水や便座の温度を低めに設定している

- ・節水シャワーヘッドを使用している

(イ) その他、対策実施による省エネ効果の大きい対策

<選定した項目>

- ・掃除機を使用するときはフローリングや畳は「弱」、じゅうたんは「強」で使い分けている
- ・エアコンのフィルターを掃除している
- ・煮物を作るときに落しぶたを使用している
- ・暖房時の室温は 20℃を目安にする
- ・冷蔵庫にもものを詰め込み過ぎないようにしている
- ・クールシェア、ウォームシェアをしている

2. 待機電力に関する調査

(ア) 主要家電製品における非使用時オフの状況

(イ) テレビ、電子レンジ※が待機電力で消費する電気代の金額に対する認識

※待機電力による電気代の金額の大きい機器の中から選出

3. 調査結果

各調査項目ごとの結果及び対策普及に必要な情報・設問に関連した省エネのポイント等について、下記のとおり掲載する。

省エネ行動阻害要因調査結果

- P 4 全体結果 (1) 各省エネ対策の実施状況
- P 5 全体結果 (2) やっていない理由
- P 6 ①節水シャワーヘッドを使用する
- P 7 ②掃除機の「強」「弱」を使い分ける
- P 8 ③テレビの画面の明るさを抑える
- P 9 ④季節に合わせて冷蔵庫の庫内設定温度を調整する
- P11 ⑤暖房時の室温は 20℃を目安にする
- P12 ⑥エアコンのフィルターをこまめに清掃する
- P14 ⑦冷蔵庫と壁の間隔をあける
- P15 ⑧冷蔵庫にもものを詰め込みすぎない
- P16 ⑨煮物を作るときは落しぶたを活用する
- P17 ⑩温水洗浄便座の温水・便座の温度を低めに設定する
- P18 ⑪クールシェア・ウォームシェア
- P19 <参考>理由別の全体結果①
- P20 <参考>理由別の全体結果②

待機電力に関する調査結果

- P22 全体結果 待機電力対策の実施状況
- P24 <参考> 家電製品の年間待機電力量
- P25 ①テレビの待機電力対策
- P26 ②電子レンジの待機電力対策

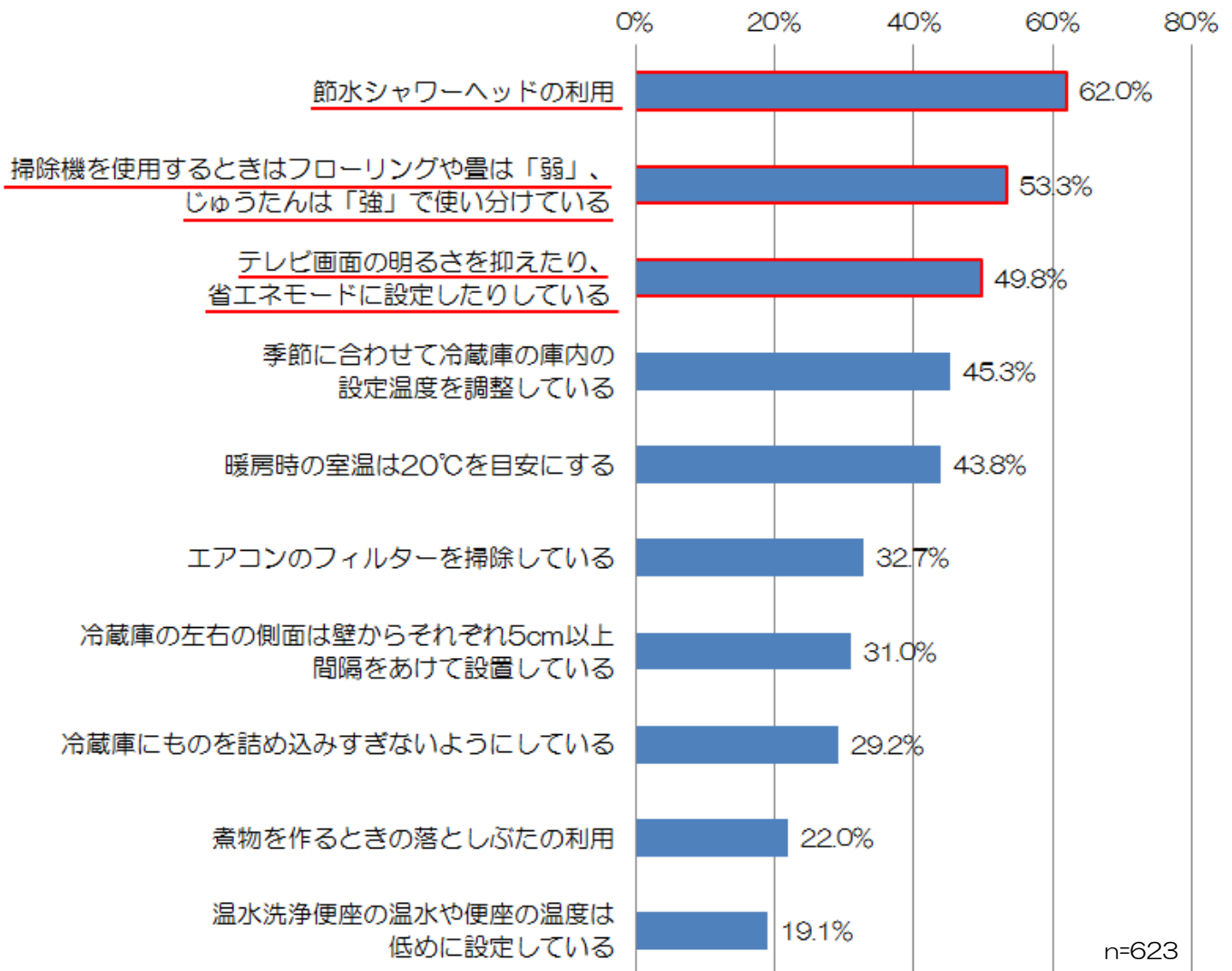
省工不行動阻害要因調査結果

全体結果（１） 省エネ対策の実施状況

◆結果◆

やっていない人が約５割以上の対策は、
節水シャワーヘッドの利用（62%）、掃除機を使用するときの強弱の使い分け（53%）、テレビの明るさの調整や省エネモードの設定（50%）

<各省エネ対策の「やっていない」割合>



全体結果（２）やっていない理由

◆結果◆

- やってない理由は、多くの対策で「やり方がわからないから」、「手間がかかるから・面倒だから」、「知らなかったから」の割合が高い
- 対策によっては、機能性や快適性の確保を理由にあげる割合も高い

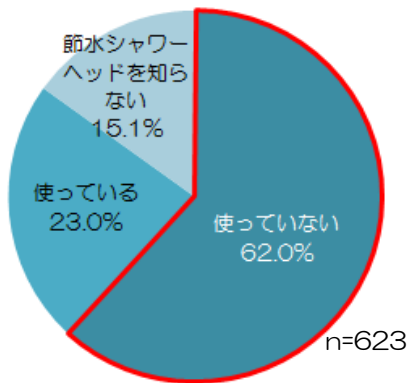
<各省エネ対策のやっていない理由トップ3>

①節水シャワーヘッドを使用する (やっていない割合：62.0%)	①必要性を感じないから（25%） ②自分で交換できないタイプのシャワーヘッドだから（23%） ③自分で交換できるかどうかわからないから（21%）
②掃除機を使用するときはフローリングや畳は「弱」、じゅうたんは「強」で使い分けている (やっていない割合：53.3%)	①「弱」ではほこりなどが十分に吸い込めない気がするから（38%） ②特に意識して使用したことがないから（24%） ③手間がかかるから・面倒だから（16%）
③テレビ画面の明るさを抑えたり、省エネモードに設定したりしている (やっていない割合：49.8%)	①明るい方が見やすいから（25%） ②設定変更できることを知らなかったから（24%） ③やり方がわからないから（23%）
④季節に合わせて冷蔵庫の庫内の設定温度を調整している (やっていない割合：45.3%)	①手間がかかるから・面倒だから（31%） ②自動調節機能を使用しているから（23%） ③調整できることを知らなかったから（14%）
⑤暖房時の室温は20℃を目安にする (やっていない割合：43.8%)	①20℃では寒いから（78%） ②推奨の目安温度が20℃であることを知らなかったから（24%） ③健康に良くないと思うから（4%）
⑥エアコンのフィルターを掃除している (やっていない割合32.7%)	①手間がかかるから・面倒だから（40%） ②エアコンを使う頻度が少ないから（33%） ③自動クリーニング機能がついているから（31%）
⑦冷蔵庫の左右の側面は壁からそれぞれ5cm以上間隔をあけて設置している (やっていない割合：31.0%)	①間隔をあけるスペースがないから（65%） ②間隔をあけて設置することが省エネ・節約になると知らなかったから（23%） ③冷蔵庫を動かすのが大変・手間がかかるから・面倒だから（10%）
⑧冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている (やっていない割合：29.2%)	①まとめ買いをしたいから（50%） ②食材を基本的にすべて冷蔵庫で保存しているから（23%） ③冷蔵庫が（居住人数に対して）小さいから（18%）
⑨煮物を作るときの落しぶたの利用 (やっていない割合：22.0%)	①落しぶたになるものを持っていないから（37%） ②落としぶたを使うことが省エネ・節約になると知らなかったから（30%） ③手間がかかるから・面倒だから（20%）
⑩温水洗浄便座の温水や便座の温度は低めに設定している (やっていない割合：19.1%)	①温かいのが好きだから（31%） ②手間がかかるから・面倒だから（20%） ③設定変更できることを知らなかったから（13%）、やり方がわからないから（13%）

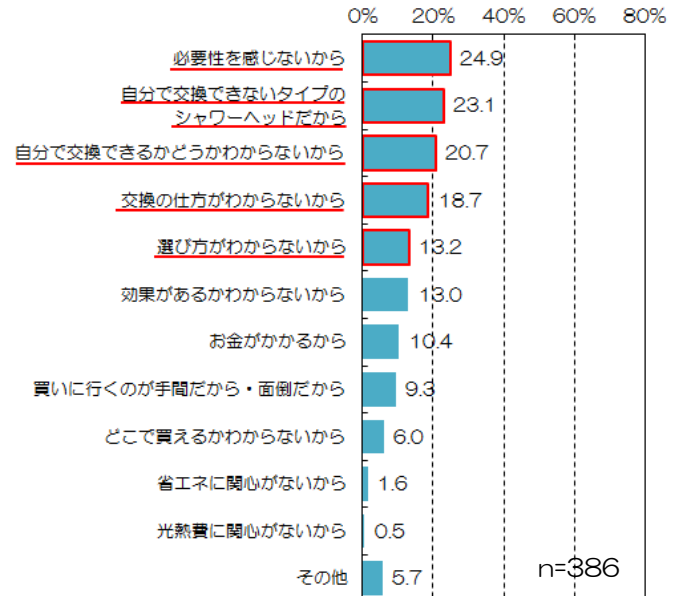
①節水シャワーヘッドを使用する

- 節水シャワーヘッドを使っていない人が6割、知らない人も15%
- 使ってない理由は「必要性を感じないから」(25%)、「自分で交換できないタイプのシャワーヘッドだから」(23%)
- 「自分で交換できるかどうかわからないから」(21%)、「交換の仕方がわからないから」(19%)、「選び方がわからないから」(13%)という回答も

Q. 節水シャワーヘッドを使っていますか。



Q. 使っていない理由をすべて選んでください。



＜対策普及に必要な情報提供＞

- 家庭で1年間に使うエネルギーの中で、給湯の割合が約3割を占めること
- 節水シャワーヘッドを使用することで約2～3割の節水になること
- 節水シャワーヘッドは自分で交換できること、交換の方法や選び方

・「節水シャワーヘッドを使用する」省エネ効果は？

節水シャワーヘッドに交換すると、約2～3割の節水に。

・意外に多いシャワーの水量

シャワーの水量は1分間で約12リットル。家族3人で一人5分シャワーを使うと約180リットル。おおよそ浴槽一杯(約200リットル)に相当します。

・節水シャワーヘッドの種類

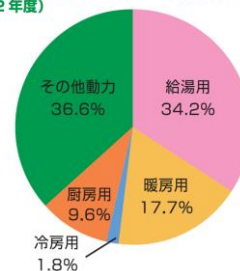
節水シャワーヘッドは、手で水を止めるスイッチがついているもの、穴を小さくして水圧を上げ少ない水量でも浴び心地を同じにしたものなど、色々な種類が販売されています。

・給湯用エネルギーが全体の約3割

家庭の年間エネルギー消費量を用途別にみると、給湯用が約3割を占めています。

(出典) 東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

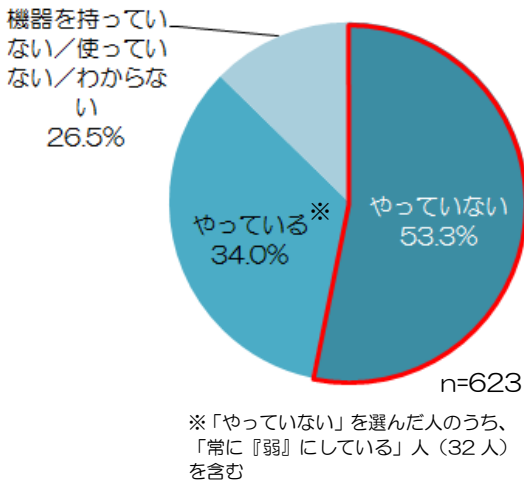
都における家庭部門のエネルギー消費量の用途別割合 (2012年度)



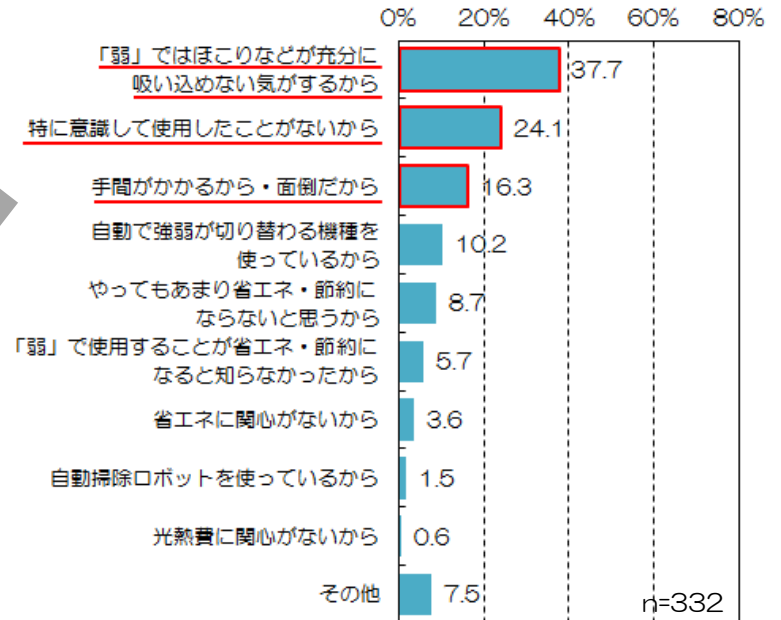
②掃除機の「強」「弱」を使い分ける

- やっていない人が5割
- やっていない理由は「弱ではほこりなどが十分に吸い込めない気がするから」(38%)、「特に意識して使用したことがないから」(24%)、「手間がかかるから・面倒だから」(16%)

Q. 掃除機を使用するとき、フローリングや畳は「弱」、じゅうたんは「強」で使いわけていますか？



Q. やっていない理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報>

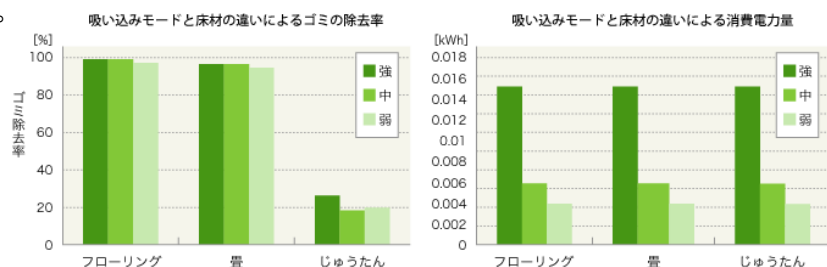
- 「強」と「弱」の使い分けが省エネになること
- フローリングや畳では「強」と「弱」で吸い込めるゴミの量がほとんど変わらないこと

●「掃除機の強弱を使い分ける」省エネ効果は？

1年間で41.61kWhの省エネ、約1,080円の節約に。

※フローリングの部屋を毎日10分間掃除するとき、掃除機の設定を「強」から「弱」にする場合（出典）東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

フローリングや畳の場合、吸い込みモードを「強」にしても「弱」にしても取れるゴミの量はほとんど変わりませんが、じゅうたんの場合は、フローリングや畳に比べてゴミの取れ方が少なく、吸い込みモードにより違いがあります。消費電力量は、どの床材においても、「弱」で掃除すると「強」で掃除をした場合に比べて約1/3~1/4の省エネになります。

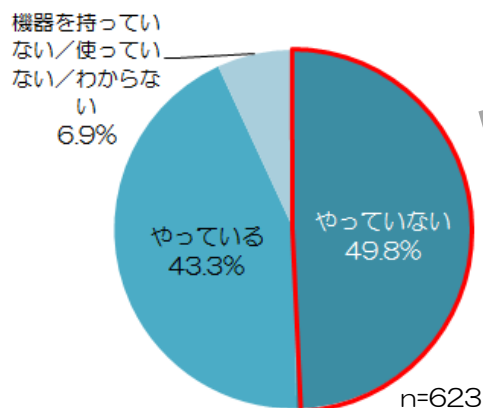


(出典) 東京電カウェブサイト <http://www.tepco.co.jp/savingenergy/living/cleaner-j.html>

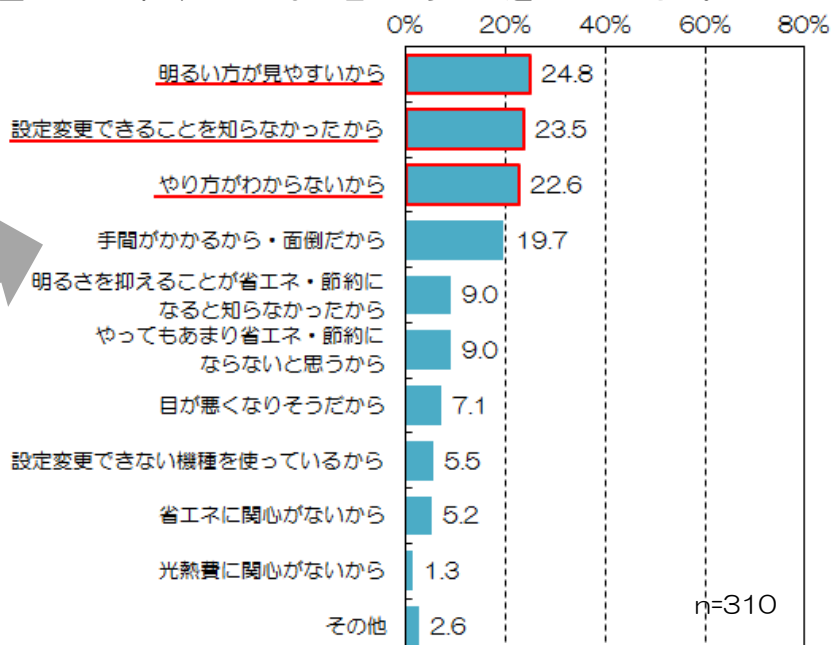
③テレビの画面の明るさを抑える

- やっていない人が5割
- やっていない理由は「明るい方が見やすいから」(25%)、「変更できることを知らなかったから」(24%)、「やり方がわからないから」(23%)

Q. テレビの画面の明るさを抑えたり、省エネモードに設定したりしていますか。



Q. やっていない理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報>

- 画面の明るさを抑えることが省エネになること
- 省エネにつながる設定変更機能があること
- 設定変更のやり方

●「テレビの明るさを抑える」省エネ効果は？

1年間で27.1kWhの省エネ、約700円の節約に。

※テレビ(液晶32V型)の画面の輝度を(最大→中央)に調整した場合
(出典)東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●「明るさ自動調整モード」は、部屋が明るいとき省エネにならないことも

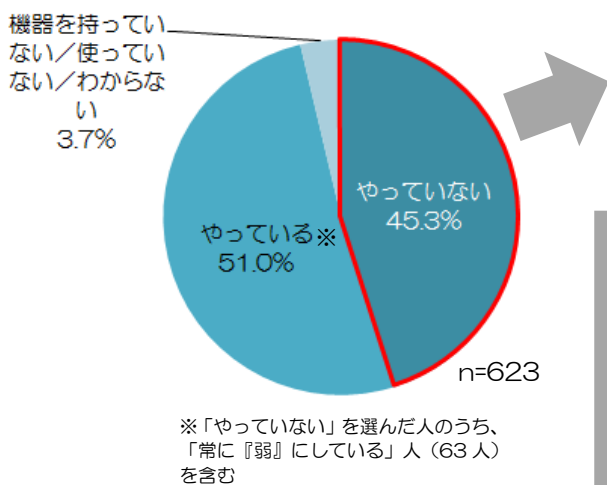
機種により、部屋の明るさに合わせて自動的に画面の明るさを調節する「明るさ自動調整モード」が設定できるものがあります。明るい部屋でこのモードを設定していると、テレビの画面も明るくなり省エネにならない場合があります。



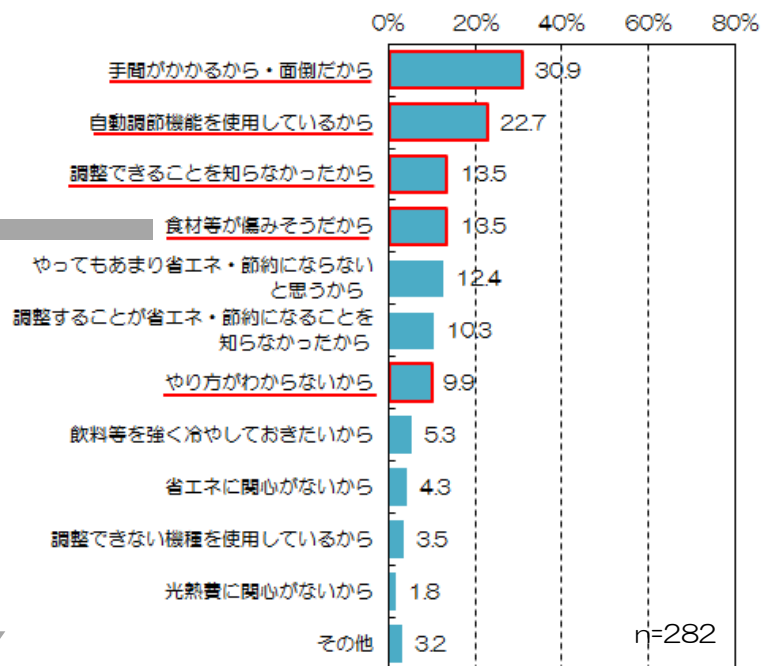
④季節に合わせて冷蔵庫の庫内設定温度を調整する

- やっていない人が5割
- やっていない理由は「手間・面倒だから」(31%)、「自動調節機能を使用しているから」(23%)、「調整できることを知らなかったから」(14%)、「食材等が傷みそうだから」(14%)
- 「やり方がわからないから」(10%) という回答も
- 「食材等が傷みそうだから」を選んだ人が取り組むために重要視する条件は、「弱」でも食材等が傷まない温度が保たれることが庫内温度表示や取扱い説明書で確認できること

Q. 季節に合わせて庫内の設定温度を調整していますか。

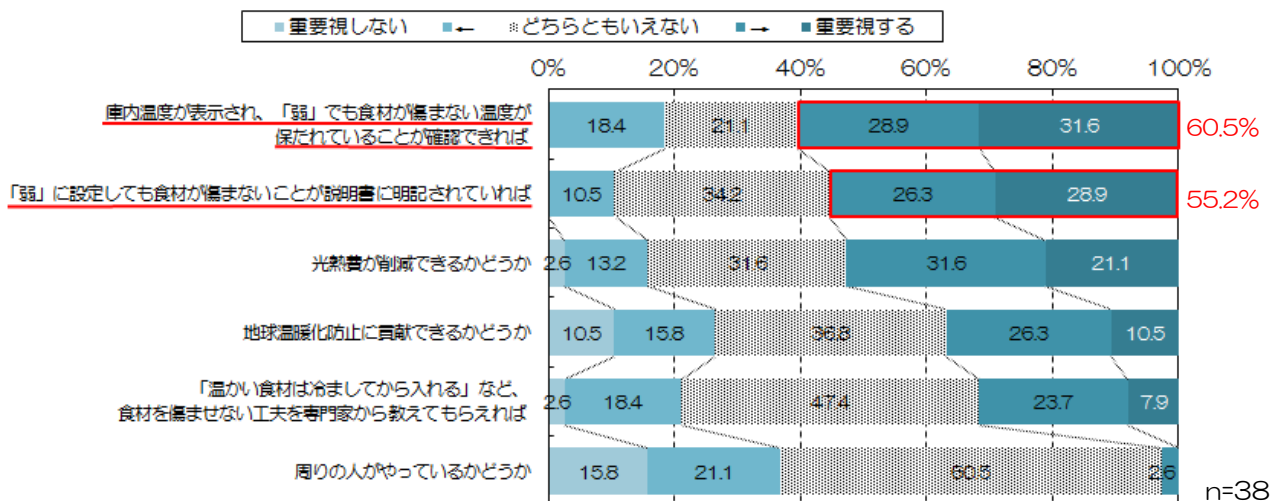


Q. やっていない理由をすべて選んでください。



< やっていない理由として「食材等が傷みそうだから」を選んだ人への質問 >

Q. 取り組むための条件として下記の項目をどれくらい重要視しますか。



④季節に合わせて冷蔵庫の庫内設定温度を調整する（続き）

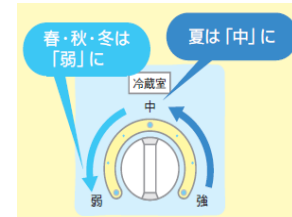
<対策普及に必要な情報>

- 設定温度を調整することが省エネになること
- 設定変更機能があること、変更のやり方
- 「弱」でも食材等が傷まない温度設定になっていること
- 冷蔵庫の庫内温度を上げない工夫

●「季節に合わせて設定温度を調節する」省エネ効果は？

1年間で61.7kWhの省エネ、約1,600円の節約に。

※周囲温度22℃で、冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にした場合
（出典）東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」



●「自動調節モード」と「弱」はどちらが省エネ？

自動的に温度調整をする設定にできる機種もあります。

調整のしくみは機種により異なりますが、「弱」の方が庫内温度が高く設定され、「自動調節モード」より省エネになる場合があります。

●庫内温度を上げない工夫① 扉の開け閉めは短く、少なく

1年間で10.4kWhの省エネ、約270円の節約に。

※冷蔵庫の扉の開閉をJIS開閉試験で定める回数行った場合と、その2倍の回数を行った場合との比較。（出典）東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●庫内温度を上げない工夫② 熱いものは冷ましてから入れる

食材などを熱いまま入れると庫内温度が上昇するため、他の食品が傷んだり、消費電力が増加したりします。

（出典）東京電力ウェブサイト

<http://www.tepco.co.jp/savingenergy/kitchen/index-j.html>



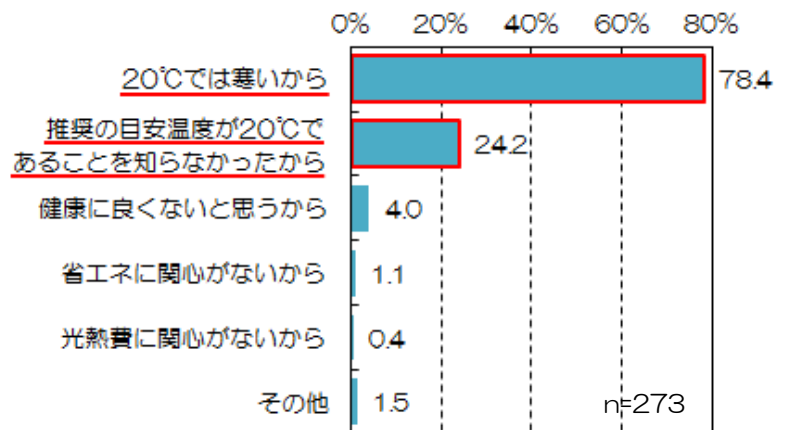
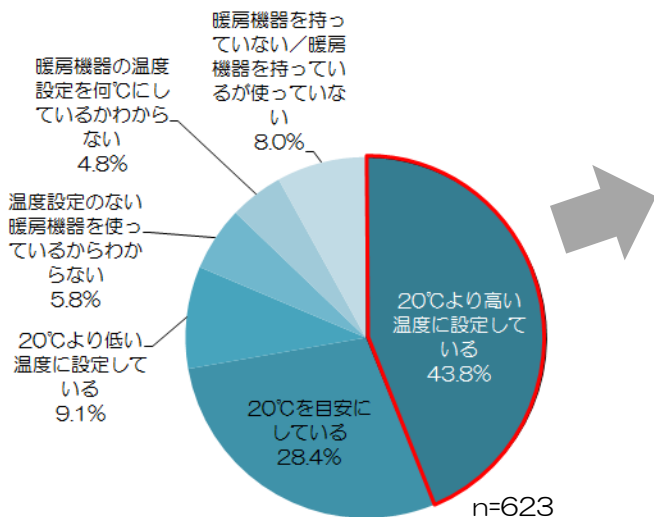
<MEMO>

⑤暖房時の室温は 20℃を目安にする

- 20℃より高く設定している人が4割
- やっていない理由は「20℃では寒いから」(78%)、「推奨の目安温度が20℃であることを知らなかったから」(24%)

Q. 暖房時の室温は 20℃を目安にしていますか。

Q. 20℃を目安にしていない理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報提供>

- 設定温度を下げることで省エネになること
- 暖房時の室温の目安は 20℃であること
- 体感温度を上げることで室温 20℃でも快適に過ごせること

●「エアコンの暖房設定温度を 20℃にする」省エネ効果は？

1年間で 53.1kWh の省エネ、約 1,380 円の節約に。

※外気温 6℃の時、暖房設定温度を 21℃から 20℃にした場合 (使用時間：9 時間/日、エアコン 2.2kW)

(出典) 東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●体感温度を上げる工夫

暑い、寒いなどの体感は、気温や室温だけでなく、湿度、気流(風)、放射温度、着衣量、活動量が関係しています。

①放射温度を上げる

放射温度とは、床や壁など周囲の物の温度のこと。

床にじゅうたんを敷いたり、窓に厚手のカーテンを使ったりしましょう。

②ひざかけや靴下を履く

ひざかけを利用すると+2.5℃、靴下を履くと+0.6℃体感温度が上がるといわれています。

(出典) 東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

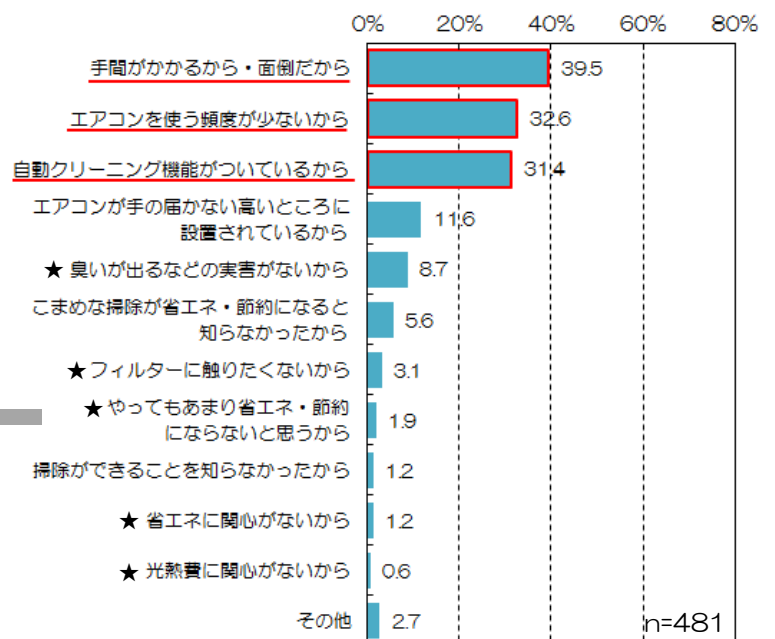
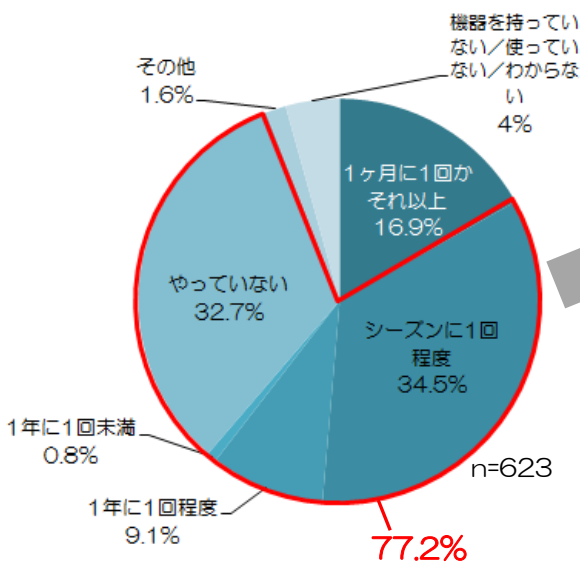


⑥エアコンのフィルターをこまめに清掃する

- ・シーズンに1回程度以下の人が8割
- ・やっていない理由は「手間・面倒だから」(40%)、「使う頻度が少ないから」(33%)、「自動クリーニング機能がついているから」(31%)
- ・取り組むために重要視する条件は、「光熱費が削減できるかどうか」(47%)、「やり方がわかりやすく示された説明書が手元があれば」(41%)

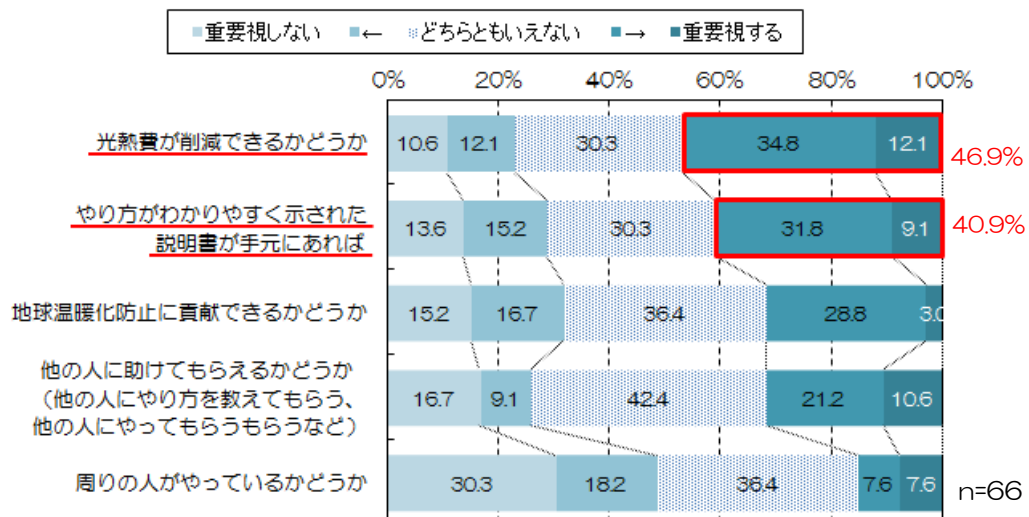
Q. エアコンのフィルターを掃除していますか。している人はどのくらいの頻度ですか。

Q. (もっと) 取り組むための条件として下記の項目をどれくらい重要視しますか。



くやっていない理由として★の選択肢を選んだ人への質問 >

Q. (もっと) 取り組むための条件として下記の項目をどれくらい重要視しますか。



⑥エアコンのフィルターをこまめに清掃する（続き）

<対策普及に必要な情報提供>

- フィルター清掃の推奨頻度が月に1～2回であること
- こまめなフィルター清掃が省エネになること、その省エネ効果
- フィルター清掃のやり方

●「エアコンのフィルターを月に1回以上清掃する」省エネ効果は？

1年間で32.0kWhの省エネ、約780円の節約に。

※フィルターが目詰まりしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合の比較
（出典）東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●室外機の前には物を置かないようにしましょう



室外機のまわりの空気の流れを妨げると、エアコンの効率が悪くなります。
植木や物などで通風を妨げないよう、すっきりキレイにしておくことが大切です。

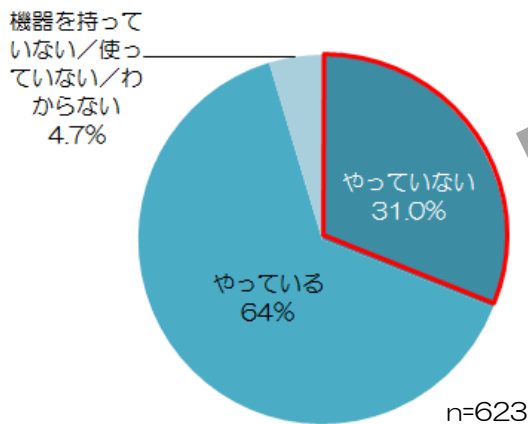
（出典）東京電力ウェブサイト
<http://www.tepco.co.jp/savingenergy/living/index-j.html>

<MEMO>

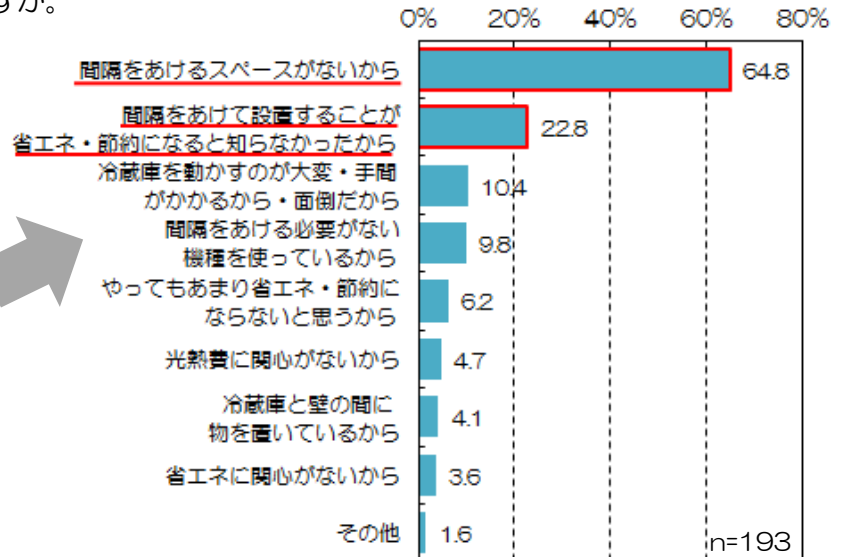
⑦冷蔵庫と壁の間隔をあける

- やっていない人が3割
- やっていない理由は「スペースがないから」(65%)、
「省エネ・節約になることを知らなかったから」(23%)

Q. 冷蔵庫の左右の側面は壁からそれぞれ5cm以上間隔をあけて設置していますか。



Q. やっていない理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報提供>

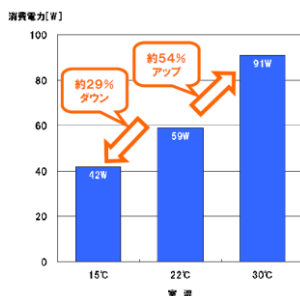
- 冷蔵庫と壁の間隔をあけて設置することが省エネになること
- 冷蔵庫の購入時に、放熱スペースを考慮して大きさ（容量）を選ぶこと

●「冷蔵庫と壁の間隔をあける」省エネ効果は？

1年間で45.1kWhの省エネ、約1,170円の節約に。

※冷蔵庫の上部と両側が壁に接している場合と、片側が壁に接している場合との比較
(出典) 東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●設置の際は周囲の温度にも気を付けましょう



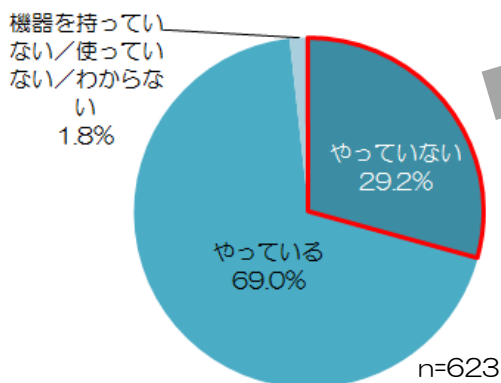
冷蔵庫の周囲の温度が高いほど消費電力が多くなります。置き場所は、熱気や直射日光の当たらない所が適しています。

(出典) 東京電力ウェブサイト
<http://www.tepco.co.jp/savingenergy/kitchen/index-j.html>

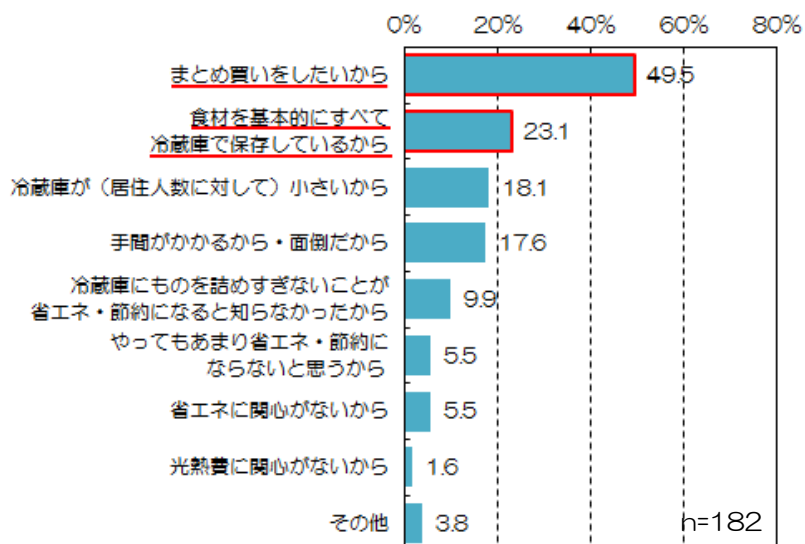
⑧冷蔵庫にものを詰め込みすぎない

- やっていない人が3割
- やっていない理由は「まとめ買いをしたいから」(50%)、「食材を基本的にすべて冷蔵庫で保存しているから」(23%)

Q. 冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしていますか。



Q. やっていない理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報提供>

- 冷蔵庫で保存する必要がない食材
- 省エネになる収納量や収納方法

●「冷蔵庫にものを詰め込みすぎない」省エネ効果は？

1年間で43.8kWhの省エネ、約1,130円の節約に。
※冷蔵庫にものを詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較
(出典)東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●冷蔵庫に入れなくても大丈夫な食材は？

かぼちゃ、しょうが、さといも、さつまいも、お米、なす、おくら、きゅうり、ピーマンなど。(出典)東京都「家庭の省エネハンドブック 2015」

●冷気の吹き出し口をふさがないようにする

庫内にある冷気の吹き出し口の前に物を置くと冷気の循環を妨げます。
吹き出し口の位置を確認し、すぐ前に物を置かないようにしましょう。

●冷蔵室はコの字収納がおススメ

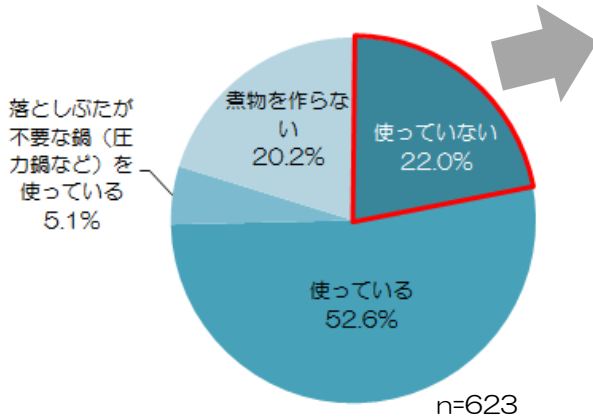
中央をあけてコの字型に収納すると、奥まで見渡せ、出し入れもしやすくなります。
その分、開閉の時間を減らすことができます。

(出典)東京電力ウェブサイト <http://www.tepco.co.jp/savingenergy/kitchen/index-j.html>

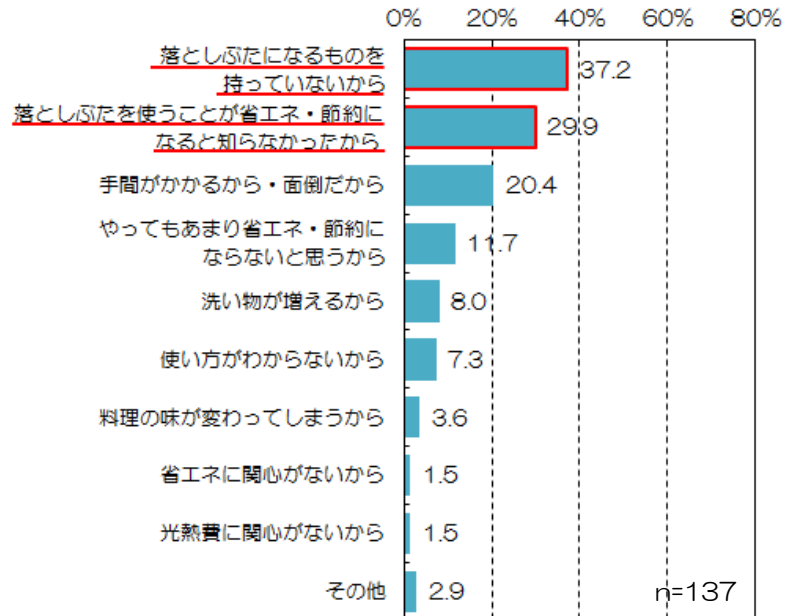
⑨煮物を作るときは落としぶたを活用する

- 使っていない人が2割
- 使っていない理由は「落としぶたになるものを持っていないから」(37%)、「省エネ・節約になることを知らなかったから」(30%)

Q. 煮物を作るときに落としぶたを使っていますか。



Q. 使っていない理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報提供>

- 落としぶたを使うことが省エネになること
- 落としぶたがなくても、アルミホイル、クッキングシートなどで代用できること

●「煮物をつくるときに落としぶたをする」省エネ効果は？

1年間で21.7m³の省エネ、約3,390円の節約に。
 ※コンロで24cmの鍋で大根の煮物をした場合。水温18℃。
 (出典)東京都発行「家庭の省エネハンドブック 2015」



●落としぶたに代用できるものは？

木ぶたがなくても、アルミホイル、クッキングシートを落としぶたの代わりにすることができます。



●調理するときは、炎が鍋底からはみ出さないようにしましょう

炎が鍋底からはみ出さない程度にするのが最も効率的です。

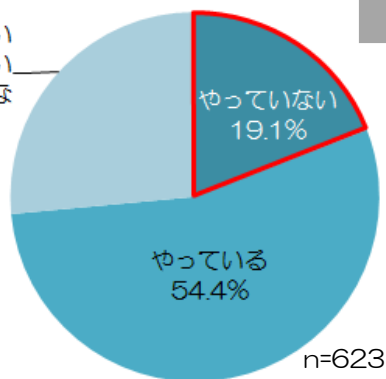
⑩温水洗浄便座の温水・便座の温度を低めに設定する

- やっていない人が2割
- やっていない理由は「温かいのが好きだから」(31%)、「手間・面倒だから」(20%)
- 「変更できることを知らなかったから」(13%)、「やり方がわからないから」(13%)という回答も

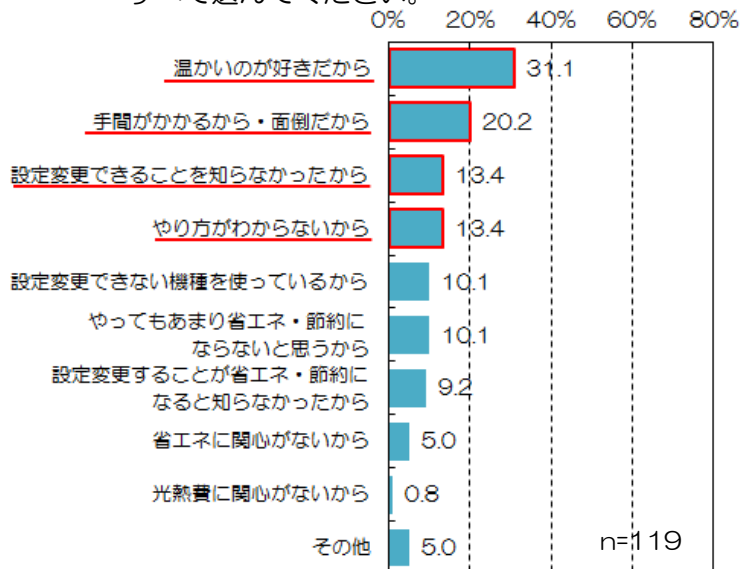
Q. 温水洗浄便座の温水や便座の温度は低めに設定していますか。

機器を持っていない/使っていない/わからない

26.5%



Q. やっていない理由について、あてはまる理由をすべて選んでください。



<対策普及に必要な情報提供>

- 温度を低めに設定することが省エネになること
- 使わないときにふたを閉めたり、自動ふた閉め機能を活用したりすることで熱を逃さず省エネになること
- 設定変更のやり方

●「便座暖房の温度を低めにする」省エネ効果は？

1年間で 26.4kWh の省エネ、約 680 円の節約に。

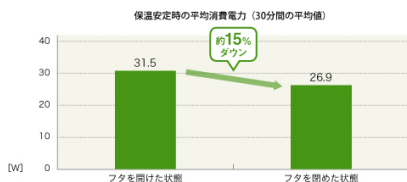
※便座の設定温度を一段階下げた（中→弱）場合（貯湯式）。冷房期間はオフ。
（出典）資源エネルギー庁「家庭の省エネ百科」 電気代は 25.91 円/kWh で計算

●「洗浄水の温度を低めにする」省エネ効果は？

1年間で 13.8kWh の省エネ、約 360 円の節約に。

※洗浄水の設定温度を年間一段階下げた（中→弱）の場合（貯湯式）
（出典）資源エネルギー庁「家庭の省エネ百科」 電気代は 25.91 円/kWh で計算

●使わないときは便座のふたを閉めましょう



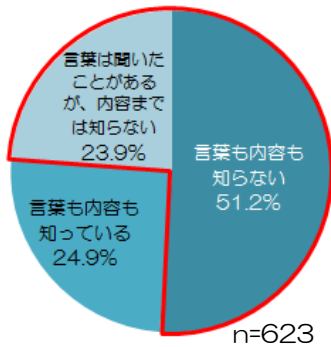
便座のふたを開けばなしにすると、便座は冷めてしまいます。ふたを閉めていたほうが熱を逃がさず、1日あたり約 15%の省エネになります。

（出典）東京電力ウェブサイト
<http://www.tepco.co.jp/savingenergy/sanitary/index-j.html>

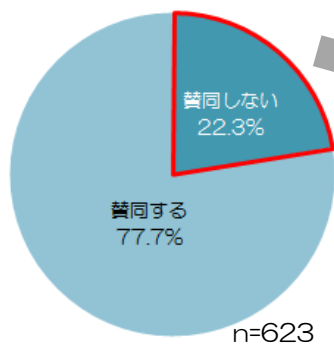
⑪クールシェア・ウォームシェア

- 言葉も内容も知らない人が5割、内容までは知らない人が2割
- 取り組みに賛同する人は8割
- 取り組むために重要視する条件は「光熱費が削減できるかどうか」(30%)、「同居人(家族など)の協力が得られるかどうか」(24%)、「外出先で割引やポイント付与などのサービスが受けられるかどうか」(22%)

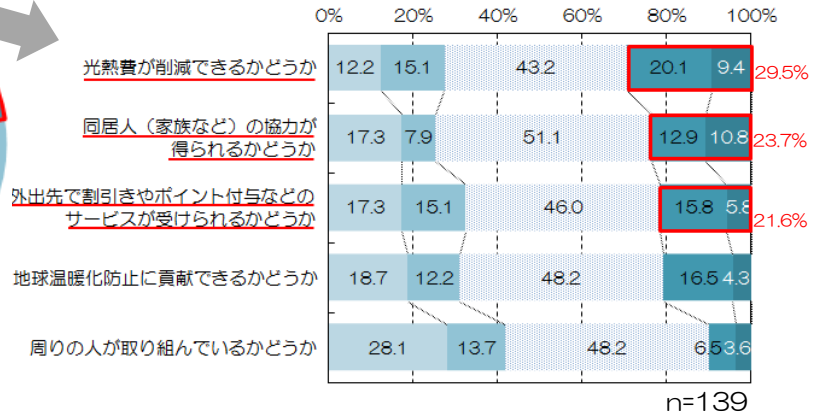
Q. クールシェア、ウォームシェアを知っていますか。



Q. この取り組みに賛同しますか。賛同しない方は、取り組むための条件として下記の項目をどれくらい重要視しますか



■重要視しない ■どちらともいえない ■重要視する



<対策普及に必要な情報提供>

- クールシェア、ウォームシェアとは何か
- クールシェア、ウォームシェアが省エネになること
- 地域によっては様々なサービスが受けられること

●「クールシェア」「ウォームシェア」とは？

「クールシェア」「ウォームシェア」とは、夏の暑い日や冬の寒い日に、涼しい場所や暖かい場所を共有(シェア)する取り組みです。家族が1つの部屋で過ごしたり、図書館や商業施設に行ったりすることで、冷房や暖房エネルギーを削減することができます。

自治体によっては、クールシェア・ウォームシェアに賛同するお店で来店者が割引サービスを受けられる仕組みづくりや、公共施設の利用者に景品交換ポイントを付与するなどの取り組みを行っています。

(参考) クールシェアサイト <http://coolshare.jp/about/>

●あなたの地域のクールシェア・ウォームシェアスポットは？

自分の暮らす地域のシェアスポットを、下記のサイトで検索することができます。

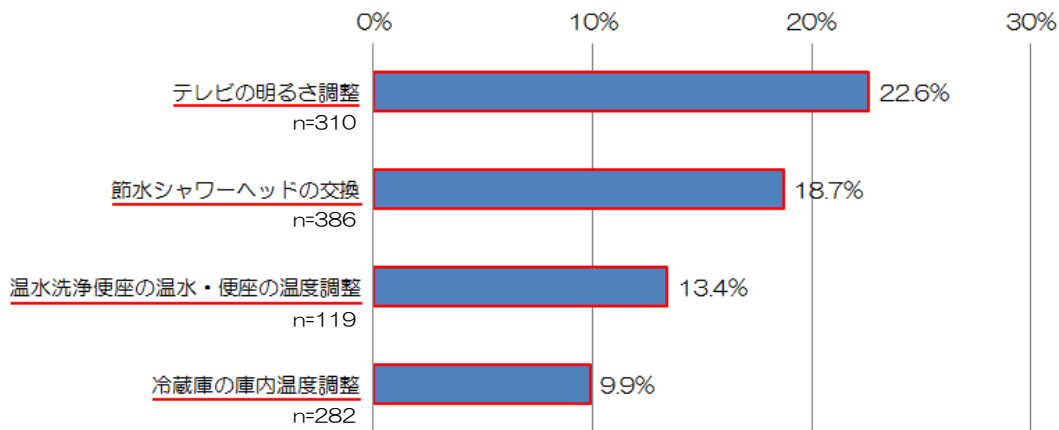
シェアマップ <http://sharemap.jp/>

<参考>理由別の全体結果①

やり方がわからない省エネ対策

✓約1割以上の人々がやっていない理由に「やり方がわからないから」を選んだのは、

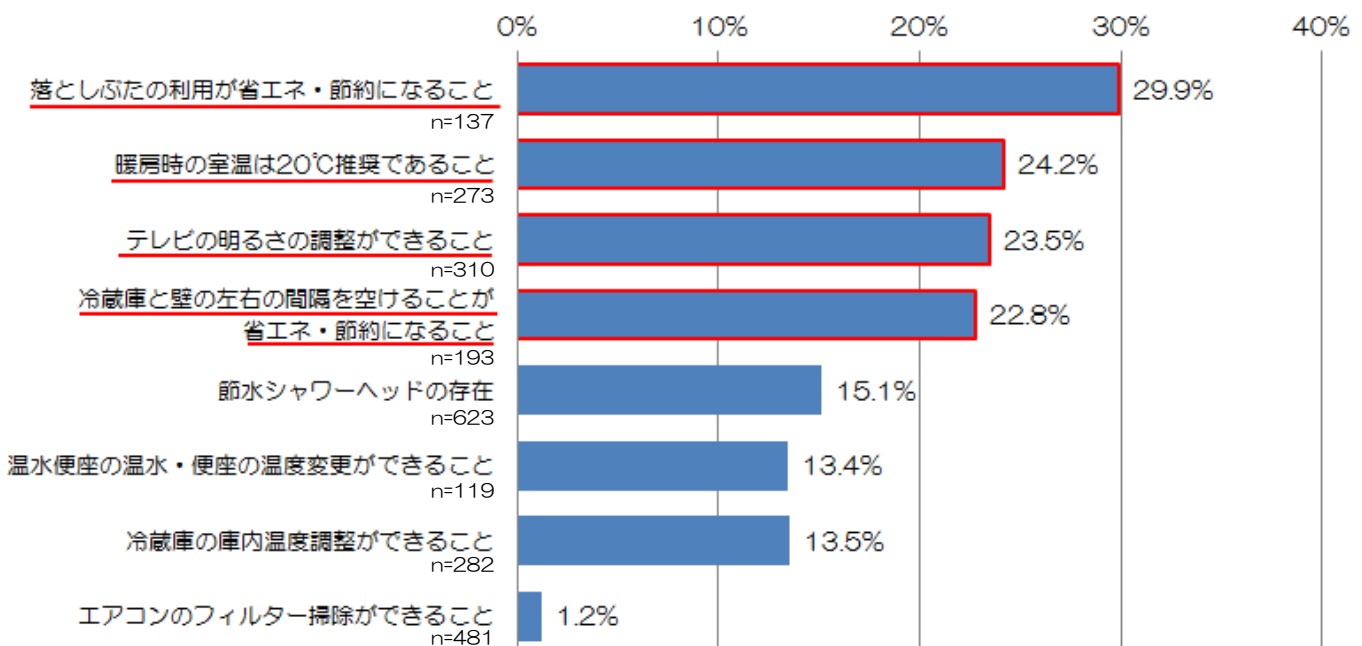
- テレビの明るさの調整方法（23%）
- 節水シャワーヘッドの交換の方法（19%）
- 温水洗浄便座の温水・便座の温度調整の方法（13%）
- 冷蔵庫の庫内温度調整の方法（10%）



知られていない省エネ対策

✓2割以上の人々がやっていない理由に「知らなかった」を選んだのは、

- 落としふたの利用が省エネ・節約になること（30%）
- 暖房時の室温は20℃推奨であること（24%）
- テレビの明るさの調整ができること（24%）
- 冷蔵庫と壁の左右の間隔を空けることが省エネ・節約になること（23%）

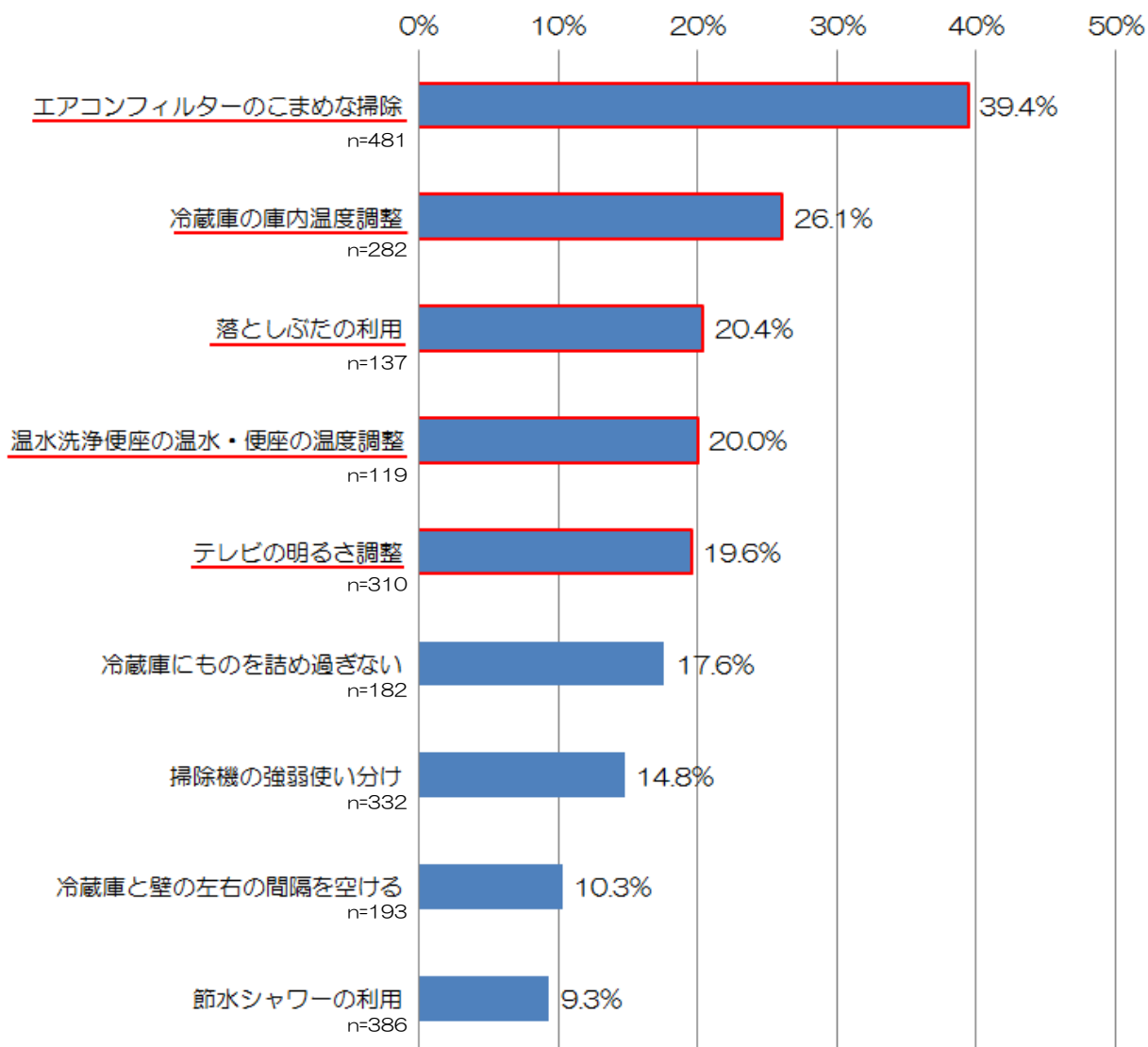


<参考>理由別の全体結果②

手間・面倒と感じる省エネ対策

✓約2割以上の人々がやっていない理由に「手間・面倒だから」を選んだのは、

- エアコンフィルターのこまめな掃除（40%）
- 冷蔵庫の庫内温度調整（26%）
- 落としふたの利用（20%）
- 温水洗浄便座の温水・便座の温度調整（20%）
- テレビの明るさの調整（20%）



待機電力に関する調査結果

全体結果 待機電力対策の実施状況

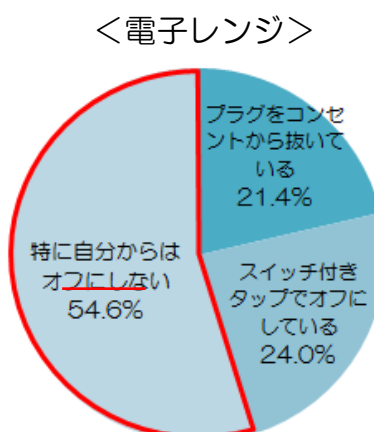
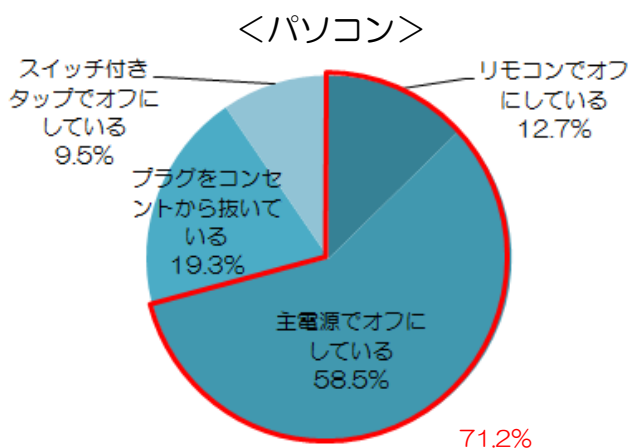
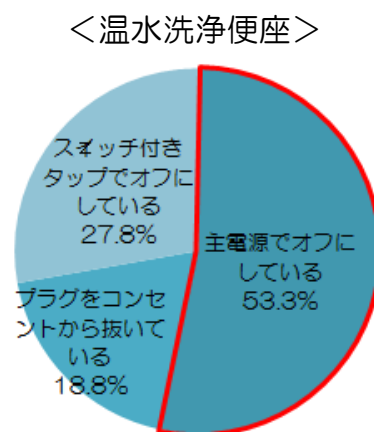
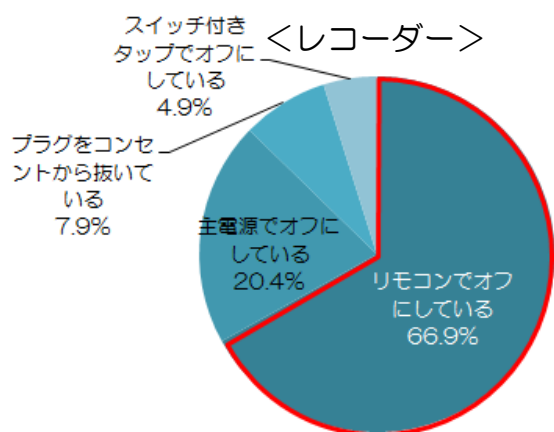
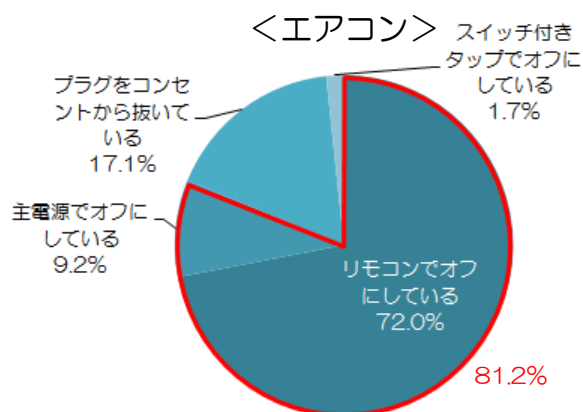
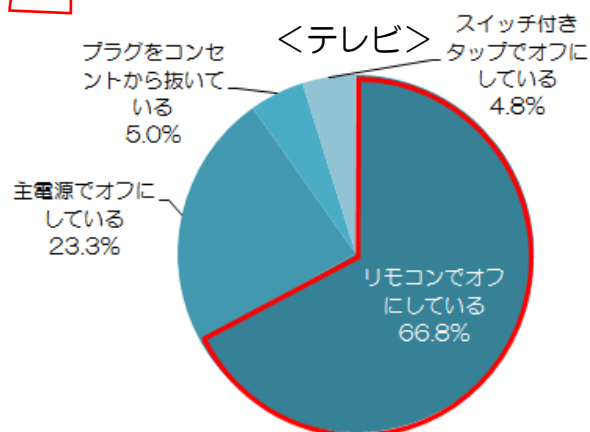
◆結果◆

- テレビや電子レンジなどの機器は、年間待機電力量が大きいにも関わらず待機電力削減の取り組みが進んでいない。
- 一方、加湿器や電気ケトルなど、年間待機電力量が小さく取り組み率が高い機器も。
- 家電製品ごとの年間待機電力量の大きさを伝え、取り組む優先順位を示すことが必要

<家電製品の非使用時のオフの状況>

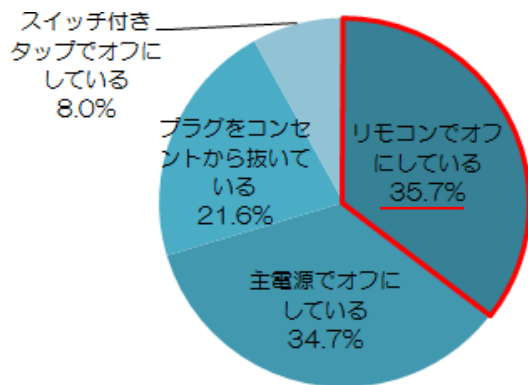
Q. 家電製品を使用していないとき、それぞれどのようにオフにしますか。

・・・待機電力が削減できないオフ

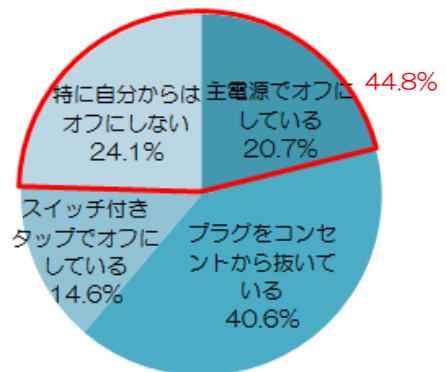


全体結果 待機電力対策の実施状況（続き）

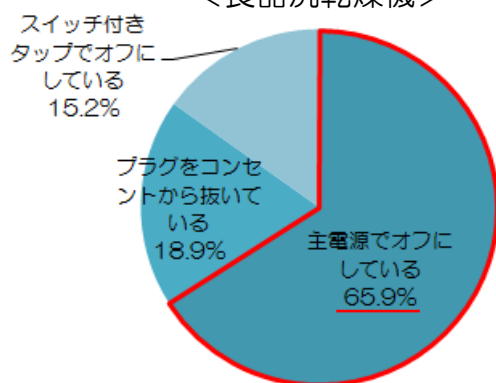
＜一体型オーディオ＞



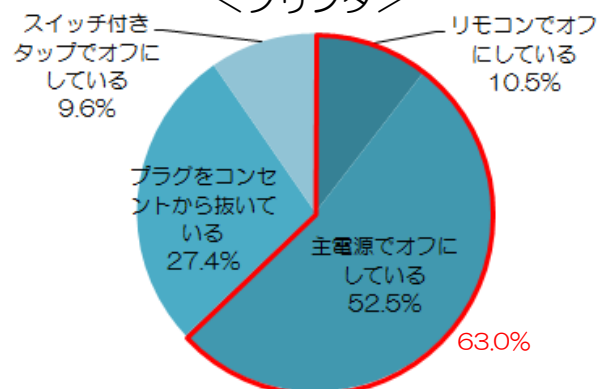
＜電気炊飯器＞



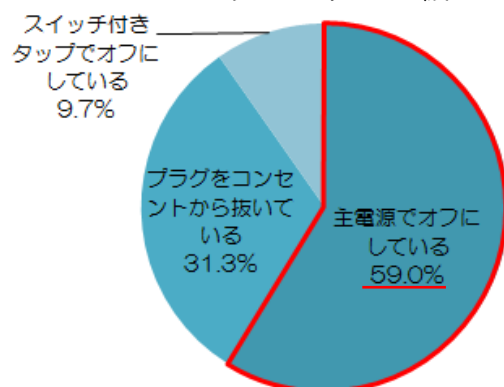
＜食器洗乾燥機＞



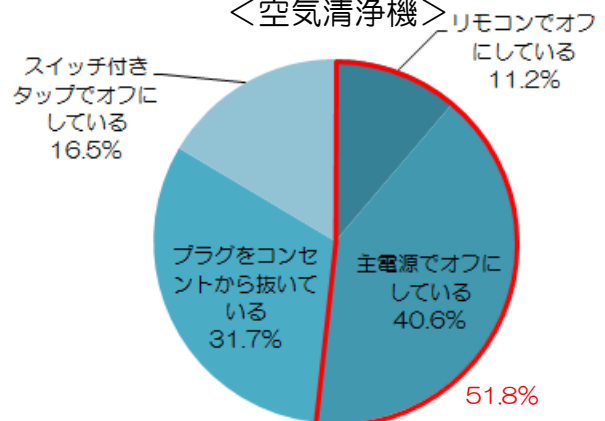
＜プリンタ＞



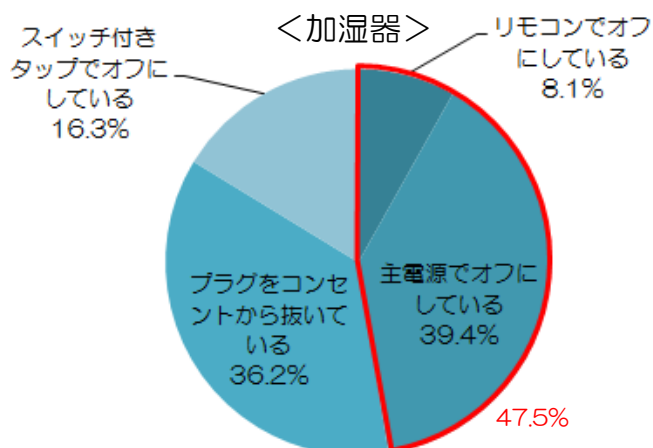
＜テレビゲーム機＞



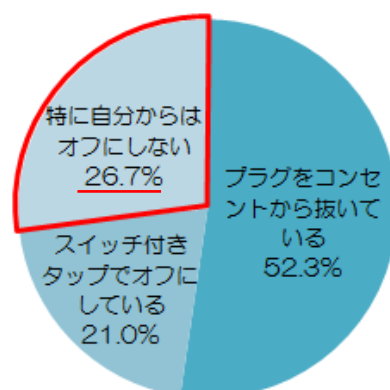
＜空気清浄機＞



＜加湿器＞



＜電気ケトル＞



<参考> 家電製品の年間待機電力量

✓テレビ、冷暖房兼用エアコン、パソコン、電子レンジ、一体型オーディオ、プリンタ、テレビゲーム機（据え置き型）、空気清浄器、加湿器、電気ケトルはプラグをコンセントから抜くことで待機電力をゼロにできる

✓ [録画・再生機]レコーダー等は、主電源オフで3割削減できる

✓温水洗浄便座、食器洗乾燥機など、待機電力をほとんど削減できない機器もある（注）

✓電気ケトルの年間待機電力量はほぼゼロ

	①家庭における年間待機時消費電力量		②非使用時に可能な限り主電源をオフにした場合に①から削減できる量			③非使用時に可能な限りコンセントからプラグを抜いた場合に①から削減できる量		
	kWh/年・世帯	円/年・世帯	kWh/年・世帯	円/年・世帯	①からの削減割合	kWh/年・世帯	円/年・世帯	①からの削減割合
テレビ	22.8	590	19.5	504	85.3%	22.8	590	100.0%
冷暖房兼用エアコン	17.9	463	0.0	0	0.0%	17.9	463	100.0%
[録画・再生機]レコーダー等	13.1	339	3.6	92	27.1%	3.6	92	27.1%
温水洗浄便座	10.6	275	0.1	2	0.8%	0.1	2	0.8%
パソコン	8.8	228	0.0	0	0.0%	8.8	228	100.0%
電子レンジ	7.1	183	0.0	0	0.0%	7.1	183	100.0%
一体型オーディオ	3.6	94	1.2	30	32.3%	3.6	94	100.0%
電気炊飯器	3.5	90	0.0	0	0.0%	3.5	90	100.0%
食器洗乾燥機	2.02	52	0	0	0.0%	0.00	0	0.0%
プリンタ	2.0	51	0.0	0	0.0%	2.0	51	100.0%
テレビゲーム機（据え置き型）	1.5	40	0.0	0	0.0%	1.5	40	100.0%
空気清浄器	0.6	15	0.0	0	0.0%	0.6	15	100.0%
加湿器	0.1	2	0.0	0	0.0%	0.1	2	100.0%
電気ケトル	0.01	0	0.0	0	0.0%	0.01	0	100.0%

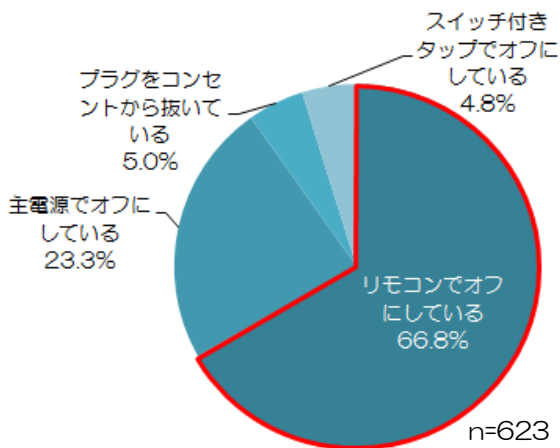
（出典）資源エネルギー庁「平成24年度待機時消費電力量調査報告書」
電気代は、25.91円/kWhで計算

（注）資源エネルギー庁の調査では、温水洗浄便座は「コンセントを抜くと支障がある」機器として分類されている。また、食器洗乾燥機は、ビルトインタイプを想定している。

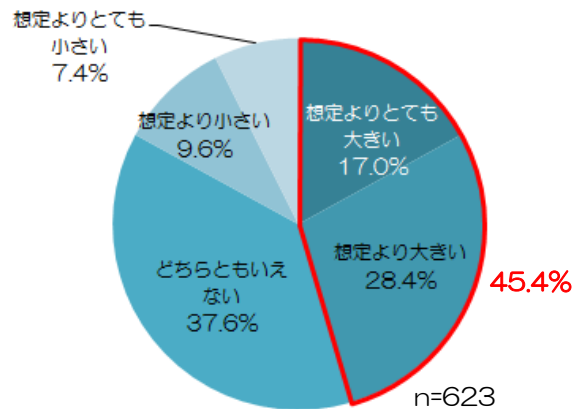
①テレビの待機電力対策

- ・リモコンでオフにしている人が7割
- ・待機電力による電気代が想定より大きかった人が5割

Q. テレビを使用していないとき、どのようにオフにしますか。



Q. 液晶テレビ1台の1年間の待機電力を電気代に換算すると約500円(※)です。この金額は想定より大きいですか、小さいですか。



※リモコンオフで主電源オンの状態が、1日15時間あるとした場合。リモコンオフの待機電力3.59W、25.91円/kWhで計算。

<対策普及に必要な情報提供>

- ・テレビの年間待機電力量の大きさ
- ・主電源オフで待機電力量の85%を削減できること
- ・プラグをコンセントから抜く、またはスイッチ付電源タップでオフすることでゼロにできること

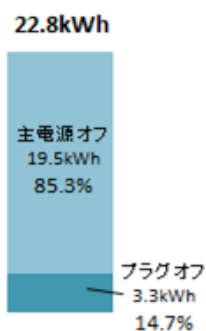
●「テレビを主電源でオフにする」省エネ効果は？

1年間で19.5kWhの省エネ、約500円の節約に。

※非使用時に可能な限り主電源をオフにした場合
(参考) 資源エネルギー庁「平成24年度待機時消費電力量調査報告書」



<テレビの年間待機電力量>



テレビを主電源でオフにすることにより、テレビが1年間に消費する待機電力量の約85%を削減することができます。

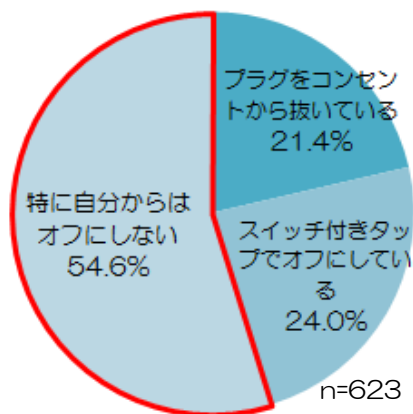
さらに、プラグをコンセントから抜く、あるいはスイッチ付電源タップでオフにすると、残り15%の待機電力量を削減できます。

(参考) 資源エネルギー庁「平成24年度待機時消費電力量調査報告書」

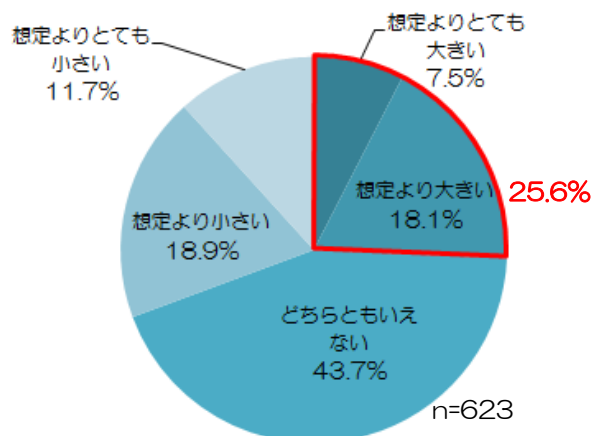
②電子レンジの待機電力対策

- 使わないときに、特になにもしない人が6割
- 待機電力による電気代が想定より大きかった人が3割

Q. 電子レンジを使用していないとき、どのようにオフにしていますか。



Q. 電子レンジ1台の年間待機電力を電気代に換算すると約180円(※)です。この金額は想定より大きいですか、小さいですか。



※資源エネルギー庁 平成24年度待機時消費電力量調査より、25.91円/kWhで計算

<対策普及に必要な情報提供>

- 電子レンジの年間待機電力量の大きさ
- プラグをコンセントから抜く、またはスイッチ付電源タップでオフすることでゼロにできること

●「電子レンジのプラグを抜く」省エネ効果は？

1年間で7.1kWhの省エネ、約180円の節約に。

※非使用時に可能な限りコンセントからプラグを抜いた場合

(参考) 資源エネルギー庁「平成24年度待機時消費電力量調査報告書」

●コンセントが手の届きにくいところにある場合には、節電タップを活用しましょう

家電製品のプラグをスイッチ付電源タップ(節電タップ)につなぎ、電源タップのスイッチをオフすることで、プラグをコンセントから抜いたのと同じ状態にすることができます。

